2021.12.25 発行
Vol.36

代表取締役

林 直樹（はやし なおき）

さざなみ

2021年、コロナ禍においても職員全員で力を合わせ、利用者様・ご家族様とともに歩んできた有限会社ささなみ。今回は2021年の振り返りと、2022年の展望について林社長に伺いました。

2021年を振り返ってみて、どんな年でしたか。

一言で言えば「変革」です。2020年5月に代表になって以来、私たちの意識改革に取り組んできましたが、2021年の1年間で様々な変化がありました。1つ例を挙げるなら、研修を増やして技術の向上を図った点です。今後は月2、3回研修を行い、有資格者を増やしていきたいと考えています。

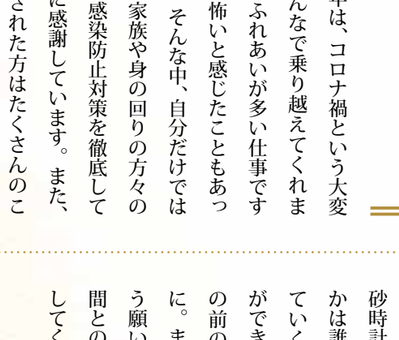
課題だったコスト意識についても、会社全体では少しずつ成長しています。研修の中にも数字を扱う内容を織り交ぜていますが、意識をさらに高めていきたいところです。

意識改革が進む中では、ハードルの高さに尻込みしたり、壁にぶつかったり、離職者が出たりという苦労もありました。ただ、そんな中でも困難を乗り越えて、さざなみで一生懸命頑張る職員には、楽しく働けて、頑張りが報われる最高の環境を作ります。

2022年の課題だと感じている部分についてお聞かせください。

少し先ほどと重なりますが、職員の知識を増やすことです。介護の面白さは、知識があってこそ感じられるもの。「この利用者様はどうしてこういう状態なのだろう」という場面で知識があれば、利用者様の思いにぐっと近づけます。

知識を増やすための第一歩は責任です。自分の成長のハンドルを自分で握り続けることです。敵はいつも言い訳をする自分です。問題が自分以外にあると考えて他責にしていると、自身の成長のハンドルから手を放してしまうことになります。もちろん成長は遠のきます。「自分ができることは何か。」と自身の成長は自分で責任を負う事を知れば、そのスピードは加速度的に上がっていきます。



職員の皆様に期待することは何ですか。

知識を増やすとともに、職員同士で切磋琢磨してほしいと考えています。知識をつけていくと「あの人のケア、すごいな」「どうしてあの人には心を開いて話してくれるのだろう」と興味が広がっていきます。そして「あの人みたいになりたい」という思いが、さらに知識を広げていくのです。チャンスはいろんなところに潜んでいます。大切なのは、見つけられるのか、掴むことができるのか。人の成長している姿を見つけたら、チャンスです。自分から聞いたり、調べたりするなど、良いところはどんどん盗んでいきましょう。

2022年の抱負をお聞かせください。

毎年同じなのですが、心が温まるケア、心の通う社会を目指していきます。たとえば、ご利用者のご家族様は日々、仕事や介護、特に感染症が蔓延して不安に押しつぶされそうな時など様々な辛さを抱えています。そういうとき、事業所のドアを開けて、職員が「こんにちは！」「いつも足を運んでいただいてありがとうございます」と元気に対応してくれたら救われますよね。「平日しんどかったけど、週末ここに来て良かった」と思っていただけるような、心がホッとする場所を作りたいと考えています。

そのためにも、知識を増やし、今よりももっと個別に特化したプランを作成していきたいです。認知症の症状は人によって様々。認知症の方を受け入れるなら、すべてのケースに対応できなければ、受け入れたことにはなりませんから。

最後に、職員の皆様にメッセージをお願いします。

2021年は、コロナ禍という大変な時期をみんなで乗り越えてくれました。人とのふれあいが多い仕事ですから、感染が怖いと感じたこともあったでしょう。そんな中、自分だけではありません。家族や身の回りの方々の協力も得て、感染防止対策を徹底してくれたことに感謝しています。また、研修に参加された方はたくさんのことを学ばれたと思います。介護過程、ICFを学ばれて介護が楽しくなったという声を聞いて、本当にうれしくなりました。講師にも恵まれて、研修環境はとても良いです。どうか、一生懸命学びに励んでください。本当に楽しくなります。

2022年は、記憶に残る時間を作ってほしいです。これは勝尾寺の人から聞いた話なのですが、ある僧侶の方が、自分の寿命があと20数年だと告げられて、「私は今、我が子に、私をとりまく人々に伝えなければいけないことを伝えきれているのか」と考えたそうです。私も含めて自分の人生の砂時計に、どれだけの砂が残っているかは誰にもわかりません。ただ、落ちていく砂の一粒一粒を輝かせることができるのは私たち自身だけです。目の前の人に感謝を届けられますように。また、常に「こうありたい」という願いを持って、利用者様や職場の仲間との毎日を、記憶に残る輝いた日にしてください。

クリスマスの思い出

クリスマスは特別な日ですよね！
誰しも忘れられない
思い出があるのではないでしょうか？
今回は３名の方にお話を伺いました。

さざなみ本社
きしもと　きよ
岸本 紀代 さん

印象に残っている
クリスマスプレゼントを教えてください！

箱一杯のお菓子です。

毎年、クリスマスの時期になると母方の祖母が箱一杯のお菓子を送ってくれて、家族４人で分けていました。田舎なので、お菓子の種類も少なかったのですが、取り合いにならないようにと4個ずつ入れてくれていました。祖母から見ると私の両親もまだまだ子どものように思っていたようです(笑)私が働き始めてからも続いていたため、この時期は家族が集まる良い機会となっていました。今でも温かい気持ちで時間を過ごせたことに感謝しています。

今サンタさんにプレゼントを
お願いするなら……？

ルミナリエの開催です。コロナの影響で中止となっていますが、それまでは毎年恒例で母と見に行っていました。もう一緒に行くことは出来ませんが、昔を懐かしむ時間が欲しいなと思います。

さざなみ京都南
なかがわ　ゆみこ
中川 由美子 さん

印象に残っている
クリスマスプレゼントを教えてください！

娘との食事です。

毎年クリスマスは娘と過ごします。ある年、クリスマスといえばチキン！からの焼き鳥！ということになり、鳥せいの焼き鳥と原酒で乾杯しました。ちょっと変わったクリスマスでしたが、楽しく過ごせました。

今サンタさんにプレゼントを
お願いするなら……？

健康です。健康に勝るものはありません！

グループホーム さざなみ鶴見
いわた　みずき
岩田 瑞稀 さん

印象に残っている
クリスマスプレゼントを教えてください！

感謝の気持ちと言葉です。

ご入居様と接していた際、「姉ちゃんも色々と大変やねーありがとう。」と言ってくださり、とても心が温かくなり嬉しい気持ちになりました。

今サンタさんにプレゼントを
お願いするなら……？

お菓子が好きなので、お菓子をお願いします！

2021年を漢字1文字で振り返って

2021年は、オリンピックに衆院選など様々なことがありました。
あなたは2021年、どんな1年を過ごしましたか？
漢字一文字で教えてください！

質問事項

❶あなたが選ぶ2021年を表す漢字1文字は？
❷上記1文字を選んだ理由を教えてください！

静

さざなみ本社
きしもと　きよ
岸本 紀代 さん

新型コロナウイルスの感染拡大が静まって欲しいという願い、母を看取り心静かに過ごしたいという想い、父と祖母をこれから支えるために冷静さを求められた１年になりました。私が物静かになることはありませんでしたが…(笑)

苦

さざなみ鶴見
いわた　みずき
岩田 瑞稀 さん

今年も、新型コロナウイルスの影響で面会や散歩などができないという苦しい状況が続きました。また、新たな環境で覚えることが増えたため、大変だった理由もあります。

変

さざなみ京都南
おぐりす　よしこ
小栗栖 好子 さん

今年は夫の定年退職がありました。軽く考えていましたが、7月の退職以降、それまでの生活パターンがガラリと変わってしまい、最初は大いに戸惑いました。ただ、世の中すべてのものは諸行無常、同じ状態のまま留まるものは決して無いと改めて思い、定年まで勤めてくれた夫に感謝しています。またこの変化を楽しみながら、来年も過ごしていきたいと思っています。人生はクリエイティブで楽しい!!

禁

さざなみ大池橋
とくたに　だいすけ
徳谷 大典 さん

色々なことが禁じられたためこの言葉を選びました。

保

さざなみ大池橋
きん　ひょんひん
金 暁璟 さん

コロナ禍において自分自身の健康を守ることがいかに大切かを痛感しました。しっかり保ち続けます。

ちなみに…
日本漢字能力検定協会が
その年の世相を表す
字であるとして決定、
公表した漢字は
こちらになりました！

金

東京オリンピック・パラリンピックで多くの金メダルを獲得したこと、大谷翔平選手が大リーグでMVPを獲得したり将棋の藤井聡太さんが、史上最年少で四冠を達成したりするなど各界で金字塔が打ち立てられたこと、さらに新型コロナウイルスの感染拡大に伴う飲食店への休業支援金や給付金などお金にまつわる話題が多かった理由が上げられます！
皆さんは今年どんな漢字を想像しましたか？
2021年、大変なことも多かったと思いますが、素敵な思い出を持ちながら2022年も頑張っていきましょう！

2021年のさざなみを振り返り

皆さん、2021年はどんな年でしたか？
新型コロナウイルスによる緊急事態宣言や、東京オリンピック・パラリンピックなど様々な行事がありました。さざなみはどんな1年だったのでしょうか？
一緒に振り返っていきましょう！
利用者様の素敵な笑顔がいっぱいです！

1月

■2021年が始まりました！
書き初めをしているようです♪

2月

■節分！鬼はそと！福わうち！

3月

■各事業所で
ひな祭りが行われました！

4月

■桜をみながらお花見です♪

5月

■端午の節句！皆さんで
柏餅を食べました！

6月

7月

■七夕！短冊に
願いを込めて……。

8月

■スイカ割りや花火、
夏を楽しんでいます♪

9月

■利用者様の誕生日会もやりました！

10月

■ハロウィン♪

11月

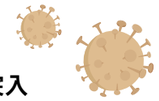
■コロナ禍で外出が難しい中、各事業所が工夫しながら
行事を開催した1年になりました！

12月

2022年も皆さんの笑顔が溢れる1年になりますように！

2021年プレイバック！

沢山の明るいニュースや暗いニュースがある中、思い浮かべるイメージは様々だと思います。今一度、今年を振り返ってみましょう！



1月1日

コロナ禍の中、「風の時代」に突入

年末から新型コロナの感染者が増えていく中、多くの人が帰省を自粛し年末年始を自宅で過ごしました。2021年は西洋占星術では200年に1度の転換期。「風の時代」といって、それまでの物質重視の時代から、情報・コミュニケーション・知性の時代への変わり目と言われ、コロナで激変する社会にもなぞらえられました。

1月8日

第2回緊急事態宣言開始

首都4都県（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）、後に関西圏・中京圏にも拡大されました。

1月20日

バイデン氏が第46代米大統領に就任

民主党のジョー・バイデン氏が新大統領に就任。トランプ前大統領は就任式を欠席しました。

2月18日

東京五輪組織委の新会長に橋本氏

東京五輪・パラリンピック組織委員会は、女性蔑視発言の責任を取って辞任した森喜朗前会長の後任として橋本聖子氏を選出。橋本氏は五輪に夏と冬で計7回出場し、2019年からは五輪担当相を務めていました。

4月16日

米ワシントンで日米首脳会談

ジョー・バイデン米国大統領は、ホワイトハウスで菅義偉首相と2国間の首脳会談を行いました。バイデン大統領にとって、菅首相が直接会って会談を行った最初の外国首脳となりました。

4月25日

第3回緊急事態宣言開始

年末年始につづき多くの人が自宅でゴールデンウィークを過ごしました。

5月18日

大谷翔平が3戦連続ホームラン

エンジェルスの大谷翔平は、本拠地エンジェルスタジアムでのインディアンス戦に2番・指名打者で先発出場すると、初回の第1打席にMLBトップ独走となる今季14号ソロ本塁打を放ちました。

5月19日

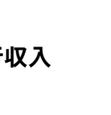
星野源・新垣結衣が結婚を発表

大ヒットドラマ「逃げ恥」で夫婦役だった2人が本物の夫婦に！日本中が驚き、ニュース速報を見た人々の祝福とショックの声がSNSに溢れました。他にも、有吉弘行と夏目三久など、大物芸能カップルが多数誕生しました！

5月23日

映画「鬼滅の刃」興行収入400億円突破

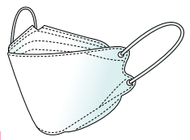
2020年の年末に、国内上映映画の興行収入歴代1位を記録した「鬼滅の刃」。さらに記録を伸ばし、ついに400億円を突破。海外でも大ヒットし、様々な記録を作りました。



6月24日

香港『蘋果日報』、国安法違反で資金凍結受け発行停止

香港最大の民主派新聞『蘋果日報（アップルデイリー）』が最終号を発行。26年にわたって発行を続けた同紙の業務停止は、香港の報道の自由にとって大きな打撃となりました。



7月12日

第4回緊急事態宣言開始

東京都、沖縄県、後に神奈川県、埼玉県、千葉県、大阪府など、複数の県も対象となりました。医療も逼迫し、外出自粛が求められました。

7月23日

東京五輪　国立競技場で開会式

開会式も無観客で行われた本大会が無事に幕を開けました。開会式をめぐっては、楽曲制作を担当した小山田圭吾氏の過去のいじめが取り沙汰され辞任したり、ショーディレクターを務める小林賢太郎氏は、ホロコーストを題材にしたコントが問題視され解任されたりと、トラブルも相次ぐ事態となりました。

8月26日

アフガン首都航空付近で自爆テロ

アメリカ軍の撤退期限が迫り、治安の悪化が懸念されていたアフガニスタンの首都カブールにある国際空港の付近で大規模な爆発が起きました。アメリカ国防総省は、過激派組織ＩＳ＝イスラミックステートの戦闘員による自爆テロと見られると明らかにしました。

10月4日

岸田内閣の発足

新内閣が組閣され、総理大臣官邸にて、松野博一新内閣官房長官から閣僚名簿が発表されました。その後、宮中において内閣総理大臣の親任式及び国務大臣の認証式が行われ、岸田内閣が発足しました。

10月21日

ショパン国際ピアノ・コンクールで16年ぶりに日本人入賞

クラシック音楽の世界三大コンクールの一つ「第18回ショパン国際ピアノ・コンクール」の最終結果が21日、ポーランドの首都ワルシャワで発表され、東京都出身の反田恭平さん（27）が2位、山口県出身の小林愛実さん（26）が4位にそれぞれ選ばれた。

2021年の総括

東京2020オリンピックが開催された歴史的な年でした。1年の延期に無観客という前代未聞のオリンピック。そんな中でも、開会式で披露されたピクトグラムのパフォーマンスは大きな話題になりました。今年もコロナに大きく影響されましたが、少しずつ良くなっていくと信じて、引き続き感染対策をしていきましょう。

知っておきたい年末トピックス！

「幸先詣（さいさきもう）」で運気向上？

今年も残すところ数日。年明けには初詣の参拝に出かける方も多いことでしょう。
コロナ禍において、各地の神社ではマスク着用や手指の消毒などの対策だけでなく、不特定多数の方が触れる鈴緒やひしゃく柄杓を撤去する動きもあるようです。
また、三が日の混雑を避けるため、「幸先詣」も推奨されています。

「幸先詣」とは、年内のうちに先の幸せを願って参拝を済ませることです。年末詣や師走詣とも呼ばれます。そもそも初詣は、古来の日本で行われていた「年籠り」が由来と言われており、家長が大みそかの夜から元旦にかけて氏神様の元へ籠もり、一年の感謝と新しい年への祈願を行うものでした。

なお、「幸先詣」は縁起が良く、ご利益が大きいとも言われます。古代、冬至を新年の始まりとしていたため、冬至から年末にかけては新しい物事を始めるのに最適で、仏様や神様の力も強まる時期だと考えられたからです。年始の習慣を変えることに抵抗もあるかもしれませんが、今年はコロナを回避するためにも「幸先詣」を検討してはいかがでしょうか。